

2016年
クイーン倶楽部だより 00 月号
第165号

ERN 有限会社エコ・ライス新潟
新潟県長岡市脇川新田町字前島970-100
TEL 0258(66)0070 FAX 0258(66)0447
URL <http://www.eco-rice.jp/>
E-mail eco-net@nekonet.ne.jp



田んぼに並ぶ
もみ殻袋

稲刈り後、農家は自宅で籾摺りし、エコ・ライスなどの業者に納品します。もみ殻は、専用の袋に入れて積んでおくと業者がトラックで回収し、暗渠などに使われます。軒先に積まれたもみ殻袋も、新潟の秋の風物詩です。

次の稲作のために粉がらを活用

あんきよ
暗渠排水でもみ殻を利用！

稲を収穫して、乾燥調整後に出る「もみ殻」の使い道をご存知ですか？

田んぼの中に素焼きの土管を埋設する工事で、土管の上にもみ殻をかぶせます。

素焼きの土管は、田んぼの余剰水を排水する役目を担っていて、干ばつ時には保水効果により稲の成長を助け、土壌を良質に保ちます。

土で土管を覆ってしまうと、泥で土管が詰まってしまうので暗渠の意味がなくなってしまう。適度に水を通すもみ殻は、暗渠に最適な資材なのです。田んぼに並べられたもみ殻は、新潟の秋の風物詩です。



中村 信也(なかむらのぶや)

医学博士。東京家政大学家政学部栄養学科教授として教鞭をとり、「食と医療」の医療薬膳研究の第一人者として活躍中。

ドクター “N”の 私にも一言言わせて

その19

※ドクター…英語で博士の意味

二人分の席

私は電車の利用は結構激しく、遠出も多いのですが、新幹線や在来特急電車を利用する毎に気になることがあります。それは新幹線の二人掛け席の独占化問題です。ほとんどの一人客は二人掛けの窓側に座り、通路側にバッグを置いて、誰にも邪魔させないぞと意思表示しています。誰も二人分の料金を払っていません。明らかに料金違反です。マナー問題ではなく、無賃問題です。ちなみに私は三人掛けの通路側に座り、バッグ膝下に置いていて、隣は占有しません。座席が空いているときは問題ありませんが、混んでいるときこれをやられるとデッキに立つ人が出てきます。空気を読んだでバッグをどかす人がいますが、多くはありません。どうも習慣化しているようです。

毎月一回夜八時半の特急に大月から乗車し新宿に向かいますが、一人客が座席を占有していますので、乗車した時から満員状態です。席の半分はバックさんです。車掌さんが必ず切符のチェックに来られるのですが、おとがめなしの素通りです。大月駅からは外国人の富士山登山帰り客も多く、一人でも多く座らせたいと思うわけですが、平然と二人席独占していますので、デッキに立つ姿があります。日本人として恥ずかしく、そっという方の教養程度を疑います。

不思議に思うのは、なぜアナウンスで注意しないのかです。毅然と「切符は一人分です。二人分の席独占は許されません」と放送してもらいたいです。この放送自体は正しいことで、違反者に注意を与え、疲れた人に座席提供するというとても立派なことですが、日本中どこでも聞けません。放送しないことは、座れない乗客を無視していることになり、サービス欠如として職務怠慢です。

車掌さんは特急料金ただ乗りは許さんという自己益追求だけでなく公益も考えてほしいものです。